

モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト 2022

中間プレゼン会



2022/10/10

同志社大学寒梅館 地A会議室

ごあいさつ

本日は「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト(M-BIC) 2022 中間プレゼン会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。関係者のみなさまに多大なるご支援、ご協力を賜り、ここに記念すべき第1回目のM-BICの中間プレゼン会を開催させて頂く運びになりましたことを、心より感謝申し上げます。

本コンテストは、産官学の垣根を越えて未来の社会を議論し、それをもとに自動運転を活用したビジネスアイデアを提案するという、これまでにないビジネスコンテストになっています。全国10校の大学・大学院・高専から13チームの学生が参加し、これまで関係省庁の皆様、企業の皆様と議論を重ねて参りました。

本日は12月の最終審査会に向けた、中間プレゼン会です。今日まで考え抜かれたアイデアの披露の場であると共に、今後のさらなるアイデアの深化に向けた議論の場でもあります。今日の間場を通して議論し、互いに刺激を与え合い、イノベーションが生まれるまさにその瞬間を、どうぞ一緒に体感してください。

M-BICオーガナイザー 長谷川 悠

プログラム

13:30 受付開始

14:00 開 会

- 開会挨拶 東京大学生産技術研究所特任研究員 長谷川 悠
- 主催者挨拶 同志社大学 モビリティ研究センター長 佐藤 健哉
- 主催者挨拶 モビリティ・イノベーション・アライアンス 代表理事 天野 肇
- M-BIC課題紹介
- 審査員紹介

14:30 プレゼンテーション&議論 第1部 (「1. ナバラー」～「7. TLAB」)

16:30 プレゼンテーション&議論 第2部 (「8. TRAVAY」～「13. MobiTecture」)

17:50 講 評

18:00 閉 会

チーム紹介

No.	チーム名	ビジネスプラン名	チームの紹介・意気込みなど
1	ナバラー	いつでもどこでもセルフエステ	2人とも三重県名張市出身のチームです。それぞれの強みを生かして頑張ります！
2	OCSy	老いゆく郊外のための自動運転モビリティ	Ondemand Convenient mobility Systemの略で、意識すると「オンデマンド型の便利な交通システム」となっている。これは提案するビジネスプランが、自動運転車を用いたデマンド交通であり好きな時にいつでも乗れる交通であるためだ。
3	NISLAB	SighTaxi	国境の枠を超えたメンバーで、最優秀賞目指して頑張ります！
4	OMUCT_S	複数の自動運転アルゴリズム共生に着目した移動時間削減のための差別最適化を行う信号機制御ビジネス	分野を横断した誰も手を出していない領域でのアイデアを実現したいです。
5	大阪公立高専物流ズ	自動運転を活用した物流システムの自動化・最適化ビジネス	日本の物流を変えます。
6	SPEL	自動運転を用いた観光・移動用次世代モビリティ	研究の同期でチームを組みました。自動運転やビジネスに関して様々なことを吸収して成長につながる機会にしたいです。
7	TLAB	Auto-Kensha: End-to-end and On-Demand Autonomous Emergency Vehicle Service for People in Need	Making our idea commercially viable while having fun at the same time!
8	TRAVAY	移動×滞在空間の自動運転車サービス	精一杯楽しみます。We will do our best !
9	TUEL	余韻コンシェルジュ	自動運転社会において、我々の世代は中心にいると考えております。故に、当事者意識を持ち、我々が使ってみたいと思うものを提案していきたいです。
10	Doshisha Consulting Group (DCG)	自動運転による新たな旅のスタイル	学部や研究会が異なるメンバーが、個性を活かして頑張ります！
11	LING	バーチャル駐車場	国内外の交通の研究をしてきたメンバーが、これからの全く新しい交通の在り方を一緒に考えました。
12	MW	マチミチ-ポチっと道路占用-	普段は建築設計や都市デザインを専門にしているチームです。自動運転技術によって都市がどう変わるか、を真剣に考えたいと思っています！
13	MobiTecture	さくっと ～都市の隙間で愉しむ～	建築学科出身の2人でチームを組みました。近代建築を生み出した建築家コルビュジェが自動車と共存する世界を描き、現代にその世界が立ち現れているように、自動運転によってまちの姿や人々の暮らしも大きく変わると思っています。私たちの強みである、人がどんな空間を欲するのかという話から、都市はどうあるべきかという大きな話まで、論じることのできる自由さを活かします。

後援



内閣府
Cabinet Office

デジタル庁
Digital Agency

特別協賛

neocareer

BOLDLY
UPDATE MOBILITY

MRI
三菱総合研究所

ASMobi
先進モビリティ株式会社

News
Technology

EV-AICHI

MS&AD
三井住友海上

TIER IV

協賛

HONDA
Honda Mobility Solutions

WILLER

DSK
株式会社 電送システム

XADE
X Transformation by Autonomous Drive Enabler

KOIF
京都クオリアフォーラム

本イベントは、内閣府SIP-adus Workshop 2022の併催イベントとして位置づけられています。
SIP-adus Workshop2022の詳細については、下記リンクも御覧ください。

<https://www.sip-adus.go.jp/evt/workshop2022/>